

単独運転防止方式の概要

メーカー名	日本電気株式会社	同様の方式を採用している形名	システム型名 : ESS003007C0 , ESS003007C0-RL, ESS003007C0-B1, ESS003007C0-S0, ESS003007C0-S5
形名	BTJ003S200A-N		

項目	受動的方式	能動的方式								
1. 方式名称	電圧位相跳躍検出方式	ステップ注入付周波数フィードバック方式								
2. 基本原理	単独運移行時に発電電力と負荷の不均衡による電圧位相の急変を検出する。	周波数偏差に応じた無効電力を注入することで周波数を更にシフトさせ、単独運転を検出する周波数シフト方式								
3. 回路方式 または 制御フロー	<p>系統電圧からゼロクロスを検出し位相を演算する。得られた位相と安定化処理した基準位相との差を求め、その差が電圧位相跳躍検出整定値を上回る場合、単独運転と判断、ゲートブロックを行い、UVR等の系統異常を検出後、リレーの解列を行う。</p> <p>電圧位相跳躍検出方式動作例</p>	<p>系統の周波数変化率から、さらに周波数変化を助長させるように急峻無効電力を注入する。また、周波数に変化が生じにくい場合に、高調波電圧や基本波電圧の変化により、無効電力を注入して周波数を変化させることで単独運転を検出する。</p>								
4. 整定範囲	<table border="1"> <tr> <td>整定値範囲 : 3° ~ 10°</td> <td>出荷時整定値</td> </tr> <tr> <td>設定刻み : 1°</td> <td>8°</td> </tr> </table>	整定値範囲 : 3° ~ 10°	出荷時整定値	設定刻み : 1°	8°	<table border="1"> <tr> <td>検出時限 : 0.2 秒以内</td> <td>出荷時整定値</td> </tr> <tr> <td>復帰時間 : 投入遅延時間 300s (デフォルト値)</td> <td></td> </tr> </table>	検出時限 : 0.2 秒以内	出荷時整定値	復帰時間 : 投入遅延時間 300s (デフォルト値)	
整定値範囲 : 3° ~ 10°	出荷時整定値									
設定刻み : 1°	8°									
検出時限 : 0.2 秒以内	出荷時整定値									
復帰時間 : 投入遅延時間 300s (デフォルト値)										